

PDF Page Utility ユーザーマニュアル

PDF Page Utility は、PDF ファイルを **分割・結合・編集** できる Windows デスクトップアプリです。ドラッグ & ドロップだけで直感的に操作できるシンプルな UI を目指して作られています。表示言語は **日本語 / 英語** を設定から切り替えられます。

目次

- このアプリでできること
- 起動方法
- 画面の見方（メイン画面）
- PDF を分割する
- PDF を結合する
- PDF を編集する（ページ並び替え・削除・回転・挿入・書き出し）
- 設定
- よくある質問 / 困ったとき
- 編集制限付き PDF の取り扱い

1. このアプリでできること

機能	概要
PDF 分割	1つのPDFを「全ページバラバラ」または「任意のページごと」に分割します。
PDF 結合	複数のPDFを1つにまとめます。順番はドラッグで自由に並び替え可能です。
PDF 編集	サムネイルを見ながらページを並び替え・削除・回転できます。 複数ページをまとめて選択して操作したり、選択したページだけを別のPDFとして書き出したりも可能です。 さらに、別のPDFをドラッグするだけで、編集集中のPDFの好きな位置に丸ごと差し込めます。
表示言語の切り替え	設定から 日本語 / English を選べます。選択した瞬間に反映され、次回起動時にも引き継がれます。
設定の引き継ぎ	ファイルの保存先、表示言語、ウィンドウのサイズや位置、サムネイル表示サイズなどは、次回起動時にもそのまま引き継がれます。

2. 起動方法

- インストール後、スタートメニューまたはデスクトップの「**PDF Page Utility**」アイコンをクリック
- アプリが起動するとメイン画面が表示されます

同じアプリを2つ同時に開くことはできません。既にかいている場合は、そのウィンドウが前面に表示されます。

3. 画面の見方（メイン画面）

起動直後はこのような画面が表示されます。



要素	説明
PDF Page Utility (タイトル)	アプリ名
⚙️ 設定 ボタン	設定ウィンドウを開きます (7. 設定 を参照)
ファイルを置く場所 (中央の枠)	PDF ファイルをここにドラッグ&ドロップします

操作のポイント:

- PDF を 1 ファイルだけドロップ → 自動的に **分割モード** に切り替わります
- PDF を複数ファイルまとめてドロップ → 自動的に **結合モード** に切り替わります
- PDF 以外のファイルや、開けないファイル (壊れたファイル、サイズが大きすぎるファイルなど) は受け付けません

4. PDF を分割する

ファイルを置く場所に PDF を 1 つドロップ すると分割モードに切り替わります。

分割モード

ファイル: サンプル文書.pdf

 PDF編集

さらにPDFをドロップすると結合モードに切り替わります

全ページをバラバラに分割

指定ページ数ごとに分割


分割実行

キャンセル

操作手順

- PDF をメイン画面の **ファイルを置く場所** にドロップする
- 分割方式を選ぶ
 - 全ページをバラバラに分割** ... N ページの PDF が N 個のファイルになります
 - 指定ページ数ごとに分割** ... 入力欄に「2」を指定すると 2 ページずつのファイルに分かれます（端数があれば末尾の PDF だけページ数が少なくなります）
- 「**分割実行**」 ボタンを押す
- 分割された PDF は **元の PDF と同じフォルダ** に保存されます（ファイル名は **元ファイル名_1.pdf, _2.pdf ...**）

補足

-  **PDF編集** ボタンから、分割前にページの並び替えや削除・回転も可能です（[6. PDF を編集する](#) 参照）

5. PDF を結合する

ファイルを置く場所に PDF を複数まとめてドロップ、または分割モード中にさらに PDF をドロップすると結合モードに切り替わります。

結合モード

さらにPDFをドロップしてリストに追加

名前順 ↑

表紙.pdf

削除

本文_第1章.pdf

削除

本文_第2章.pdf

削除

付録.pdf

削除

全てクリア

結合実行

キャンセル


操作手順

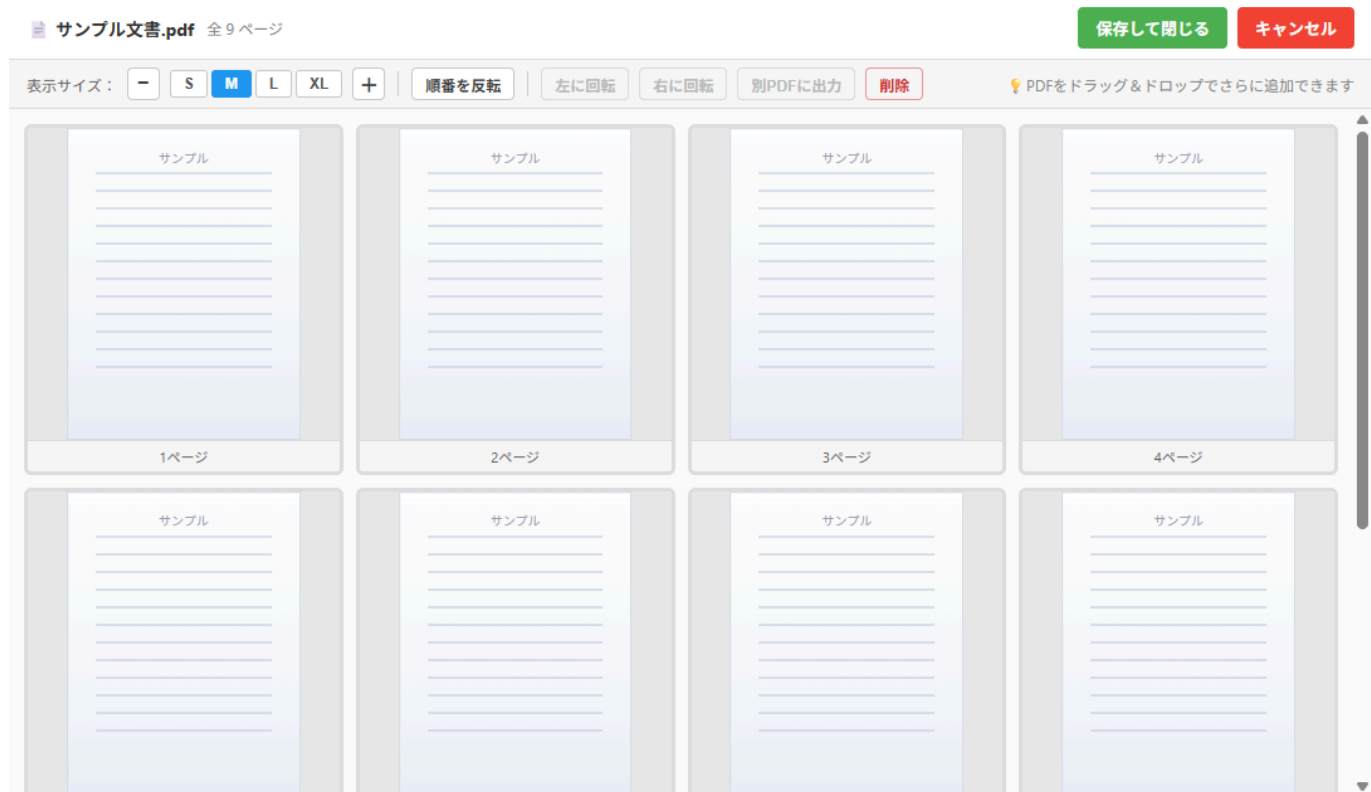
1. PDF を複数ドロップする（後から追加もできます）
2. リストの並びがそのまま結合順になります
3. 並び順を変えたい場合は、リスト項目を **ドラッグして上下に移動** させてください
4. リスト上部の「**名前順**」 ボタンを押すと、ファイル名で一括並び替えができます（押すたびに昇順↑ / 降順↓ が切り替わります）
5. 不要なファイルは **削除** ボタンで個別に取り除けます
6. 全てやり直したいときは **全てクリア** ボタン
7. 順番が決まったら「**結合実行**」 ボタンを押す
8. 結合された PDF は、設定で指定された「**ファイルの保存先**」 に保存されます
 - ファイル名は **リスト先頭のファイル名_merged.pdf** になります（例: 先頭が **表紙.pdf** → **表紙_merged.pdf**）

補足

- 1 ファイルしか残っていない状態では結合する意味がないため、再度ファイルを追加するかキャンセルしてください
- 結合モード中でも上部の「**さらに PDF をドロップしてリストに追加**」 から追加投入できます
- 「**名前順**」 で並び替えた後でも、個別にドラッグして微調整できます

6. PDF を編集する（ページ並び替え・削除・回転・挿入・書き出し）

分割モードの  **PDF編集** ボタンから、専用の編集ウィンドウを開けます。ここでは元 PDF を上書き保存する形で、ページを並び替え・削除・回転・追加できます。 **ページを複数まとめて選択** すれば、選択分だけ一気に削除／回転／別ファイルへ書き出しも可能です。



画面の構成

領域	内容
上部ツールバー	編集中のファイル名 / 全ページ数 / 選択中のページ数 (選択時のみ) / 「保存して閉じる」「キャンセル」
下部ツールバー	サムネイルの表示サイズ調整 (S / M / L / XL 4段階 + / - / + ボタン)、 順番を反転 ボタン、 選択ページに対する操作ボタン (左 / 右に回転、別PDFに出力、削除)
サムネイル一覧	各ページのサムネイル。 クリックで選択 、ドラッグで順序変更が可能

できる操作

操作	やり方
ページの並び替え	サムネイルをドラッグし、 青色の挿入位置の目印 が出たところでドロップ (複数選択中なら選択ページがひとつかたまりで一緒に動きます)
ページの選択	サムネイルを クリック (範囲選択は Shift+クリック 、追加・解除は Ctrl+クリック 、全選択は Ctrl+A 、選択解除は Esc)
ページの削除	選択した状態で下部の 削除 ボタン、または Delete キー
ページの回転	選択した状態で下部の 左に回転 / 右に回転 ボタン (90° ずつ)

操作	やり方
選択ページを別ファイルとして書き出し	選択した状態で下部の 別PDFに出力 ボタン（ 下の説明 を参照）
ページの順番を一括反転	下部ツールバーの 順番を反転 ボタンをクリック（全ページの並び順が逆になります）
別の PDF を途中に挿入	下の説明 を参照
表示サイズ変更	下部の S / M / L / XL ボタン、または - / + ボタン
保存	上部の 保存して閉じる ボタン（確認の表示のあと、 元のファイルに上書き されます）
取りやめ	キャンセル ボタン。編集内容があった場合は破棄の確認が表示されます

ページを選択する

サムネイルをクリックすると **青い枠** で囲まれて選択状態になります。複数ページを選んだ状態では、上部ツールバーに「**(N 選択中)**」と件数が表示され、下部ツールバーの **選択ページに対する操作ボタン**（左に回転 / 右に回転 / 別PDFに出力 / 削除）がすべて有効になります。



操作	やり方
単独で選び直す	サムネイルを クリック
範囲で一気に入る	開始位置をクリック → 終了位置を Shift+クリック
1つずつ追加・解除する	サムネイルを Ctrl+クリック （Mac は ⌘+クリック ）
全ページを選ぶ	Ctrl+A

操作

やり方

選択をすべて解除

Esc キー、またはサムネイル以外の場所をクリック

選択した状態でできる操作:

- **削除** ボタン（または **Delete** キー）でまとめて削除
- **左に回転** / **右に回転** ボタンで一括 90° 回転
- **別PDFに出力** ボタンで別 PDF として書き出し
- サムネイルをドラッグすると **選択ページがすべて一緒に移動**

選択したページを別の PDF として書き出す

報告書の一部だけを取り出して別ファイルにしたい、特定のページだけ抜き出して共有したい、といった場面で便利です。

操作手順:

1. 抜き出したいページを上の手順でまとめて選択
2. 下部ツールバーの **別PDFに出力** ボタンをクリック
3. 書き出した PDF は、設定で指定された「**ファイルの保存先**」に保存されます（[7. 設定](#) を参照。初期値はデスクトップ）
4. 保存後、保存先のフルパスがダイアログで表示されます

書き出しは **新しいファイルが作られるだけ**で、編集中の PDF 本体には影響しません（選択したページは編集ウィンドウから消えません）。同名のファイルが既にある場合は末尾に **(2), (3) ...** が自動で付くので、既存ファイルが上書きされることはありません。

別の PDF を途中に挿入する

編集中の PDF の好きな位置に、別の PDF を丸ごと差し込めます。 挿入する側のページ数は何ページでも構いません。報告書の途中に別添資料を挟みたい、表紙だけ別ファイルになっているものを差し込みたい、後からスキャンしたページを所定の位置に追加したい、といった場面でとても便利です。

操作手順:

1. 編集ウィンドウを開いた状態で、エクスプローラーから挿入したい PDF を **編集ウィンドウの中にドラッグ**
2. サムネイル一覧の上を動かすと、ページとページの上に **緑色の挿入位置の目印** が表示されます（並び替え時は青色なので、色で区別できます）
3. 入れたい位置でマウスを離すと、その PDF の **全ページが一気に挿入** されます

挿入後にできること:

- 挿入したページも、他のページと同じく **ドラッグで並び替え** / **選択して削除・回転・書き出し** できます
- 別の PDF をさらに重ねて挿入することもできます
- 上部の「**保存して閉じる**」で、元の PDF に挿入結果が上書き保存されます

表示サイズの切り替え

サムネイルのサイズは4段階あり、状況に応じて使い分けられます。Lを選んだ状態の例:



サイズ	列数	用途の目安
S	6列	ページ数が多い時の全体俯瞰
M	4列	デフォルト。バランス良い
L	3列	内容を確認しながら作業したい時
XL	2列	細かい文字までしっかり確認したい時

選んだサイズは終了時に保存され、次回起動時にも引き継がれます。

保存に関する注意

- **保存して閉じる** は **元の PDF を上書き** します。元に戻したい場合は事前にコピーを取っておく必要があります
- 1ページ以上残っていないと保存できません
- 保存は中断されないよう、保存中はボタンが無効化されます

7. 設定

メイン画面右上の  **設定** をクリックすると設定ウィンドウが開きます。

設定

ファイルの保存先:

C:\Users\User\Desktop

フォルダ選択

言語

日本語 ▼

保存

キャンセル

設定項目

内容

ファイルの保存先 「フォルダ選択」ボタンから任意のフォルダを指定できます。初期値はデスクトップ。**結合機能**で作成されたPDF、および編集ウィンドウの「**別PDFに出力**」で書き出されたPDFはここに保存されます

言語 アプリの表示言語を **日本語 / English** から選びます。ドロップダウンで選んだ瞬間にメイン画面・編集ウィンドウの表示がすべて切り替わります（**保存** ボタンを押す必要はありません）。選択内容は次回起動時にも引き継がれます

保存 を押すとファイルの保存先の変更が反映されます。**キャンセル** で保存先の変更を破棄します。（言語の切り替えは選択した時点で即時反映されるため、保存・キャンセルの影響を受けません）

8. よくある質問 / 困ったとき


Q. PDF をドロップしても反応しない

- PDF ファイル（拡張子 **.pdf**）であることを確認してください
- ファイルが壊れている可能性があります。他のビューアで開けるか確認してください
- 編集画面に PDF を追加する場合、ファイルサイズの上限は **500 MB** です

Q. 日本語のページが文字化けする

- 通常の日本語 PDF はそのまま表示されます
- それでも文字化けする場合は、PDF 自体にフォント情報が含まれていない可能性があります

Q. 結合結果や書き出し結果が思った場所に保存されない

- メイン画面右上の  **設定** から **ファイルの保存先** を確認してください（初期値はデスクトップ）
- **結合機能の出力** と **編集ウィンドウの「別PDFに出力」の出力** は、どちらもこの保存先に作られます

Q. 同名のファイルが既にある場合、上書きされてしまう？

- いいえ。分割・結合・「別PDFに出力」の出力では **末尾に (2), (3) ... が自動で付く** ため、既存ファイルが上書きされることはありません
 - 例: `表紙_merged.pdf` が既にあるば → `表紙_merged (2).pdf`, さらにあれば `表紙_merged (3).pdf`
- ただし、**編集機能の「保存して閉じる」** は、**元の PDF をそのまま上書きします**（番号は付きません）

Q. 編集ウィンドウで間違っってページを削除・回転してしまった

- まだ **保存して閉じる** を押ししていなければ、**キャンセル** を押せば編集内容は全て破棄されます（破棄の確認が出ます）
- 既に **保存して閉じる** で上書き保存した後は元に戻せません。重要な PDF は事前にコピーを取っておくことをおすすめします

Q. 分割・結合をやり直したい

- 分割／結合モードの **キャンセル** ボタンでメイン画面に戻れます
- 出力先に作成された PDF は手動で削除してください

9. 編集制限付き PDF の取り扱い

一部の PDF には「編集制限」（オーナーパスワード）が設定されており、印刷やコピー・編集が制限されています。本アプリでは、こうした PDF を読み込もうとした時点で次のダイアログを表示します。

このPDFは編集制限付きです。[変換して読み込む] [キャンセル] ※変換すると制限が解除された別のPDFとして読み込みます

- 「**変換して読み込む**」を選ぶと、内部的に制限を解除した別の PDF として取り込まれます。テキスト選択や検索は維持されます。
- 「**キャンセル**」を選ぶと処理を中断します。

なお、開く時にパスワードを要求される PDF（ユーザーパスワード設定済み）は本アプリでは取り扱えません。

⚠ この機能は、**ご自身が所有または編集を許可された PDF に対してのみ使用してください。**

付録: アプリの基本情報

項目	値
アプリ名	PDF Page Utility
対応 OS	Windows 10 / 11
設定ファイル	%APPDATA%\PDF Page Utility\config.json
対応言語	日本語 / 英語（設定から切り替え可能）
自動で記憶する設定	ファイルの保存先、表示言語、メイン画面・編集ウィンドウのサイズと位置、サムネイル表示サイズ
編集ウィンドウへの追加 PDF サイズ上限	500 MB
日本語 PDF の表示	CJK フォント（CMap）対応済み
同時起動	不可（既に開いている場合は前面に表示）

このマニュアルに記載のスクリーンショットは説明用の見本です。実際の表示内容（ファイル名やページ数など）は使用状況によって変わります。